

8月24日には阪神・丹有地区の防災ジュニアリーダー学習会の見学に行きました。伊丹イオンモールの1階イベントスペース

にて阪神・丹有地区の育成校7校が「楽しく遊んで防災減災」をテーマに家族連れ・子どもたちを対象に学びを深めてもらおうと各校のブースでクイズ、すごろく、紙食器・スリッパ製作などを行っていました。伊丹イオンモールはとても防災に理解があり、多くの方々に知識や考えを広めていきたいとのことから依頼があったそうで、このような形で地域と一体となって取り組めるのは素晴らしいことだと思いました。なかでも、武庫荘総合高校のミニチュア救助袋の体験では、袋を通過する際の理屈がわかって、実際の場面でも要救助者が怖がらずに避難ができるのではないかと思います。防災ボトルと称して、携帯ボトルにあめや羊羹、簡易トイレとなるビニール袋と処理剤、圧縮タオルを入れて持ち歩くというのはとても良いように感じました。各地区の取組を見て回りましたが、初めて見るものが多く、とても勉強になりました。また中心となる先生方の意気込みや熱意も感じられ、防災・減災の考え方の普及という点では広がりを見せていると感じました。ただ、意識してもらったところからもう一歩進めなくてはならないとも感じました。最近では、早い避難が呼びかけられる傾向にあり、大雨や土砂災害などでは今回のような学習でしっかりと意識できて考えれば対応できると思います。しかしながら避難所となるところが水・電気・ガスが通っていない状況ならどうでしょうか？地震や津波対応のように長引く避難所対応の場合、食事の提供などはどうするのでしょうか？そういった場面での対応については想定の範囲を広げていかねばならないのではないのでしょうか。私自身の避難所対応の経験から、災害の種類によってマニュアル通りに行かない場合の対応方法も身につけておかねばならないと考えています。今でこそ、避難所となる体育館などではプライバシーを守るためにテントや段ボールなど間仕切り用のものが用意されていると思いますが、どこに保管しておくとか、保存食などの期限や廃棄を減らすこと等考えることはたくさんあります。本校の環境防災科での学びを通して、また防災ジュニアリーダーの学びを通してさらに深めていき、緊急対応ができるようにしていきたいですね。来年度は阪神・淡路大震災から30年という節目の年になります。今後の防災・減災を考える上で必要なことをみんなで知恵を出し合ってよりよいものにしていきましょう。



前号で紹介した野球部の敗者復活戦は、灘高校にはタイブレークの末に勝利を収めたのですが、2回戦の須磨友が丘高校との対戦では、チャンスをものにできず最後はエラーがらみで突き放され敗戦。県大会出場はなりません。バスケットボール部、バドミントン部(個人)もそれぞれ県新人大会に向けよく頑張りましたが、残念ながら県大会に駒を進めることはできませんでした。この経験をしっかりと次に生かして、次の目標に向けて頑張ってください。

そしてよいよ2学期が始まります。今学期は体育祭、2年生の修学旅行、本校創立50周年記念式典と大きな行事が目白押しです。特に体育祭は本校グラウンドでの初めての開催となるだけに準備をしっかりと進めているものの、こういった状況になるか想定できないこともあります。保護者の皆様の観覧席につきましては生徒たちの活動を見ていただくため、テニスコートでの観覧をペースに教室での観覧も考えているところです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、2年生にとっては高校生活での大きなイベントである修学旅行が11月に予定されています。体調管理をすることはもちろん、集団生活となりますので基本的なルールを守ることや宿舎生活、アクティビティや観光などと同時にその地域の状況を把握しておくことは必要です。しっかりと調べておきましょう。創立50周年記念式典は神戸文化ホールで11月18日に開催します。節目となる行事ですので、式典成功に向けては生徒・保護者の皆様のご協力もいただきながら準備を進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

長期休業明けは心の問題についてよく言われますが、うまく学校生活に入っていけるように時間には余裕を持って、規則正しい生活を心がけ、さらに姿勢と歩き方を意識して体のコンディションを整えていってください。